

大学院入試 文系ガイダンス

山城健

河合塾 KALS 新宿校

大学院について

○一般的な大学院：研究機関

- 研究者養成 (博士過程進学)
- 高度な専門知識を得た人材の養成 (修士終了後は就職)

○専門職大学院 (公共政策、ビジネス、会計、法科、教職、臨床心理など)

- 高度専門職業人の養成

入試の時期と種類

○入試のピーク期

- 秋入試 (9 月～10 月)
- 春入試 (1 月～2 月)

試験の約 1 ヶ月前までに必要書類を提出

○入試の種類

- 一般入試 (学部から大学院へ)
- 社会人入試 (社会人から大学院へ)

入試の形式

(1) 筆記試験

- 専門科目 (ERE など外部スコアが利用可能な場合も)
- 語学 (翻訳メイン / TOEFL 等のスコア)

(2) 面接

- (研究計画書等に基づいた) 口述試験

※小論文や事前の論文提出、面接のみなど、試験の形式や科目は様々なので、志望校ごとに必ず確認

試験までに必要なこと

- (1) 志望校選択
- (2) 研究計画書等の作成
- (3) 語学の勉強 (TOEFL 等のスコア送付が必要な大学あり)
- (4) 専門科目の勉強
- (5) 面接対策

志望校の選択基準

○指導教官で選ぶ

- 自分を取り組みたい研究テーマの専門家を探す
- 本や論文などのチェック

○他の条件の確認

- カリキュラム (研究テーマに関する授業があるか)
- 卒業生の進路、ネットワーク
- 試験科目
- コスト (授業料、移動時間など)

研究計画書等の作成

○研究計画書 (学習計画書、志望理由書) への記載事項

- 研究テーマ (研究したいこと)
- 研究テーマの選択理由 (問題意識、社会的意義、学問的意義など)
- これまで勉強してきたこと (先行研究について)
- 入学後の研究計画 (具体的な研究の進めかた)
- 卒業後の希望進路 (博士進学、就職なら仕事の内容、方向)

研究計画書の評価基準

○研究計画書で入学後研究していけるか、修士論文が書けるかを判断

- 研究内容 (研究の意義)
- 先行研究のまとめ
- 構成や表現 (論理性)
- 具体性
- (可能なら) オリジナリティ

→

- 文字数 (1000 字～20000 字) など指示に合わせて調整
- 提出前に必ず第三者に見てもらうこと

筆記試験対策：語学

○専門分野の原書の和訳がメイン

- 志望校の過去問に取り組み、出題傾向を把握
- 専門用語の確認
- 専門知識が役立つ

○TOEFL 等で語学試験を代替する大学あり

- 願書提出期限までに TOEFL 等のスコアを提出する必要

筆記試験対策：専門科目

- 志望校によって出題される専門科目数は異なる
- 志望校の過去問を分析、出題傾向に合わせた対策
- 志望校の授業で使用されている教科書があると良い

○出題形式

- 選択問題
- 計算問題 (計算プロセスまで記入)
- 論述問題 (語句説明、専門論述など文章で説明する)

→

- 専門知識を理解、暗記
- 専門知識とそれに基づき考えを説明する文章力必要

筆記試験対策：小論文

- 志望校の過去問を分析、出題分野・形式を把握
- 出題分野の基礎知識を整理
- 大学で求められる文章(論文)の書き方、形式を身につける

→

- テーマの論点についての知識が有効
- 論文の文章形式に基づいて、論理的・客観的に書く文章力必要

面接対策

○志望動機

- なぜその大学なのか
- 志望校の特徴
- アドミッション・ポリシーの確認

○卒業後の希望進路を明確にする

- どのような分野で何をしたいか

面接対策

○研究計画書（学習計画書、志望理由書など）の内容を説明する

- 研究テーマやそのテーマを研究する理由の説明
- 研究テーマに関してこれまで勉強してきたことの説明
- 研究計画書についての質問への回答

→

- 研究計画書等の説明原稿を作成
- 想定問答集を作成

入試に向けたスケジュール

- 大まかな研究テーマや卒業後の希望進路を決める
- 5月(10月)初めまでに志望校選択
- 5月(10月)以降、試験勉強(専門、語学)、研究計画書の作成に向けて専門書や論文を読む
- 7月(12月)初めまでに研究計画書の草案作成、改定していく
- 研究計画書作成後、面接対策

ご清聴ありがとうございました。